

高山の文化

No.126 2011.8.24 Culture in Takayama



文学散歩道から市街地と遠く飛騨山脈(北アルプス)方面を望む

社団法人 高山市文化協会発行



高山市昭和町1丁目 高山市民文化会館内 Tel.34-6550 Fax.34-6877

メールアドレス●mail@takayama-bunka.org
ホームページアドレス●http://www.takayama-bunka.org
(文化会館の催し物案内はこのホームページをご覧ください。)

福田夕咲の歌碑を

文学散歩道に移設

高山を代表する詩人・福田夕咲の歌碑が、飛騨の里近くの「文学散歩道」沿いにある山岳資料館の敷地内に移設され、八月十日に除幕式を行いました。

この碑は、もともと上野町にあった旅館に置かれていました。旅館が廃業した後、親戚の方によって保管されていたものを高山市文化協会が譲

り受け、整備して高山市へ寄贈いたしました。

碑は、高さ約一メートル、幅約八十センチで、上野町界隈を詠んだ「伊波野なる 沼の水乃面に白くもの

宇津良布みれば
そそろさひ志起」という歌が刻まれています(下写真)。

移設にあたっては、飛騨地域の短歌の発展に貢献された都竹豊治氏(故人)から指導を受けた「萌木会」が費用の多くを負担してくださいました。



文学散歩道には、瀧井孝作や早船ちよ、井上靖など、高山に縁のある著名人の文学碑があります。自然散策を兼ねて一度訪ねてみませんか。

福田夕咲(ふくだゆうさき)

明治十九年に大新町で生まれ、本名は有作といえます。学生時代から「七つの子」や「赤い靴」などの作詞で有名な野口雨情らと親交があり、「自由詩社」を創立しました。その後、読売新聞に入社し、若山牧水や北原白秋らと詩壇の新運動に参加しています。

大正三年に高山に戻った後は、「飛騨短歌会」などで後進の指導にあたり、郷土の文化の向上に大きな功績を残し、昭和二十三年に没しました。

第15回高山市近代文学館企画展

「郷土の文学碑と東部地区と旧大野郡編」

高山市文化協会では、高山に縁のある文学作品を紹介して、文学を身近に感じていただくとう近代文学館企画展を開催しています。

今回は、前回に引き続き、故中舎高郎氏が執筆された「飛騨の文学碑遍歴」の中から、市街地東部と旧大野郡に所在す

る文学碑を紹介します。

入場無料です。お誘い合わせの上お出かけください。

◇期間 九月九日(金)～十一日(日)

◇時間 午前十時～午後五時(最終日のみ午後四時まで)

◇会場 高山市図書館換章館 一階 生涯学習ホール

「岡目(目)」

文明と文化とどう違うのかということが前から気にかかっている。色々の人が色々のことを言っている。

「Civilization」と「Cultureの違い」と言われてもよく分からない。

ある人は「米を作るか麦を作るか文明の違いで、その麦をパンにするか麴にするかが文化の違い」と言う。

又ある人は「文化は方言のようなもので範囲が限られるが、文明は標準語のようなもので普遍性がある」なんておっしゃる。

司馬遼太郎はこう言う。「人間は群れてしか生存できない。その集団を支えているものが文化と文明である。文明とは誰でも参加できる普遍的なものの合理的なもの、機能的なもの。文化はむしろ不条理で、特定の集団(たとえば民族)にのみ通用する特殊なもので、他に及ぼしがたい」と。

飛騨の文化、高山の文化も本来独特で特殊であったはずだ。ところが今、文化だか文明だか分からないのでは...? 平泉は世界文化遺産に登録されたが、高山のそれはまだはるかに道が遠い。

(ガンモンモ筆)

高山の文化を高めた人々

50

広瀬武夫の少年像を作った医師
中村清雄——一刀彫発展にも尽力
時 順治

残念なことに除幕式のわずか二カ月後に軍需用に供された。二体目は武夫少年の乾漆像で、およそ六十五センチ、昭和十八年九月の第三十回日本美術院展に出品し、入選している。

戦後すぐの日展にも乾漆の親像を出品し入選したが、昭和二十六年頃から木彫に切り替え、昭和二十八年に始まった日本彫塑会へ主力を注いだ。毎年出品し五回目に会友へ、更に毎年入選を果たして昭和三十五年には会員に推挙され、以後は無鑑査となった。

中村は個人としての彫塑技量向上のみでなく、飛騨全体の美術の向上発展も願っていた。昭和十六年に自ら提唱し立ち上げた飛騨美術協会では戦中から戦後にかけて十年以上活動を続け、飛騨美術会の裾野拡大及び水準向上に大いに寄与した。



文化活動面での中村の最大の功績は、飛騨一位一刀彫の水準向上に尽力した事と言われる。

先ず昭和十年、親友の真蓮寺住職・三島常馨と図って、東京から帝展審査員で日展参与の恩師吉田三郎先生を招



東小学校に展示されている広瀬武夫少年像

更には昭和四十三年と翌年には、飛騨一位一刀彫協同組合の求めに応じて彫刻基礎講習会を実施した。その時、中村は組合と協議の上、組合員だけでなく市内で彫刻に興味を持つていた人々にも広く参加を呼びかけた。昭和四十三年の参加者六十二名の中には、組合員のほかその弟子や市民が多数含まれていた。彫刻文化の裾野を広げ、同時に後継者を育成しようとした中村の熱意が伺える出来事といえよう。

一位一刀彫の水準向上に向けた努力はまだある。昭和二十一年、中村は、基礎的デッサンを重視するなど一刀彫に新しい感覚を取り入れる試み始めた。県美術展に入選した一刀彫師など九名が中村の下に集まって昭和二十七年「一彫会」という塾を立ち上げ、デッサンのほか粘土・石膏の彫塑技術、果ては人体の骨格に至るまで学習・研究が広がった。三年に一回展覧を開く事も決まった。この一彫会で、中村は傘寿を機に引退するまで二十五年間、ひたすら一位一刀彫の水準向上に尽力したのである。



作品制作中の中村氏

その後、一位一刀彫業界では、国の伝統工芸士資格取得者が四十名弱となったほか、若くして日彫会会員や日展会友に到達した彫師も誕生。流派を超えて後継者育成に努力した中村は、昭和二十七年、高山市文化協会第三代会長に就任。高山市医師会の会長も一期二年務めた。昭和五十五年没。享年八十七才。

六月四日・五日、市民文化会館において「高山文化フォーラム2011」を開催した。今年のテーマ「築」に各団体が日ごろの成果を披露し、厳正な審査の結果、次の団体が入賞しました。



日本盆栽協会飛騨支部

高山文化フォーラム 2011

○大賞 若柳臣流久美華会、(社)日本吟道学院院友会飛騨本部
○文化フォーラム賞 宗家西川流末広会、日本舞踊青風会、新澤愛子創作バレエ研究所、

生田流箏曲演奏会
○審査員特別賞 西川流花清会、豊飛会
「展示の部」
○大賞 (社) 日本盆栽協会 飛騨支部
○文化フォーラム賞 木版画同好会、全日本写真連盟飛騨支部
○審査員特別賞 岩島玲子と装学院玲和会、花日和



若柳臣流久美華会

七月九日、こくふ交流センター「さくらホール」のオーブンを記念し、ギターリスト・莊村清志さんと、テノール歌手・錦織健さんによるコンサートを開催しました。気さくなお人柄の二人は、束ねた髪をつかみ、後ろ向きになって「ちよんまげーズ」などと言いつつポーズをとって場内を和ませていました。披露した曲は、ヘンデルの「いとしの森よ」「泣かせ



てくさい」など名曲ばかりで、素晴らしいホールの神(こ)から、落としにふさわしい超一流の演奏に、満員の観客は魅了されていました。

マイコレクション展

毎回、好評を得ている「マイコレクション展」を十月十五日、十六日に開催します。応募要項は次のとおりです。

- ◇対象とするコレクション
長期間に亘り収集したものの、苦労して探し求めたこだわりの品々、今では手に入れることが困難になったもの、郷土の文化に関連するものなど。(但し、自動車や大型機械器具、家具、宝石、高級美術品、動物などは対象外とします)
- ◇年代
特に規定はありません。
- ◇展示スペース
縦約八十センチ、横約百七十センチ以内に表示できる数量とします。
- ◇収集品の搬入
各自で収集品の搬入及び搬出をお願いします。特に、事情のある方はご相談ください。
- ◇申込要領
所定の出品申込書に記入し写真を添付してください。な

道伝えの日 「お月見歌会」

高山市文化協会では、高山市文化伝承館において「道伝えの日」事業を行っています。その一環として、仲秋の名月(九月十二日)にちなみ広く短歌を募集し、「お月見歌会」を開きます。

- ◇募集期間
九月六日～二十七日まで
- ◇選考
応募点数が多い場合、出品物の種類が重複する場合は、審査により決定し、その結果を本人に通知します。
- ◇申込・問合せ先
高山市文化協会(電話三四・六五〇)

お寄せいただいた作品は審査を行い、優秀作に賞品を贈呈します。また、広報「高山の文化」に掲載させていただきますので、たくさん応募ください。

- 募集作品
- ☆一般の部
課題歌(月) 一首
自由歌 一首
- ☆高校生の部
課題歌(月) 一首
- 応募方法
郵送(はがき可)またはメールで。必ず住所、氏名、電話番号を記入。高校生は学校学

会員研修旅行 伊賀上野天神祭と奈良の特別公開寺院

今年度の会員研修旅行は、上野天神祭(国指定重要無形民俗文化財)と薬師寺では日本画壇の重鎮・平山郁夫画伯が30年かけて完成した大唐西域壁画の特別公開を見学。その他浄瑠璃寺、岩船寺などの重要文化財を訪ねます。宿泊は、橿原温泉です。

- ◇期日 10月25日(火)～26日(水)
- ◇参加費 27,000円
- ◇定員 40名(先着順)
- ◇申込方法 任意の用紙に住所・氏名・電話番号(自宅・携帯)を記入し、郵送、持参またはFAXで
- ◇申込先 〒506-0053 高山市昭和町1 市民文化会館内 高山市文化協会 FAX34-6877

市制施行75周年記念 高山市文化芸術鑑賞事業

国立モスクワ合唱団
日時/11月12日(土) 18:30～
会場/丹生川文化ホール
全席自由 一般 ¥3,000
メセナメイト会員 ¥2,500
発売開始日 9月3日(土) 10:00～
発売場所 高山市民文化会館/丹生川文化ホール



グレン・ミラーオーケストラ
日時/11月22日(火) 18:30～
会場/こくふ交流センター さくらホール
全席指定 一般 ¥5,000/メセナメイト会員 ¥4,500
発売開始日 一般 9月11日(日) 10:00～
メセナメイト会員 9月10日(土) 10:00～
発売場所 高山市民文化会館/国府社教(こくふ交流センター2階)/飛騨市文化交流センター



期日	公演名(仮)	会場
12月8日	ドレスデン国立歌劇場室内管弦楽団&森麻季	高山市民文化会館
H24 2月6日	アンサンブル金沢&青島広志	高山市民文化会館
2月9日	柄本明ひとり芝居	久々野町公民館
2月28日	柳家小三治落語会 ※当日は演目が異なります	こくふ交流センター
2月29日		高山市民文化会館
3月31日	葉加瀬太郎コンサート	高山市民文化会館

これからの文化鑑賞事業

※上記事業は都合により変更する場合があります。

(社)高山市文化協会主催 初心者入門講座のご案内

何か趣味を持ちたい、習いごとをしたい、しかし、ベテランの方々ばかりの会へ入るのは気がひける。そういう方々のために、やさしく手ほどきする初心者入門講座を開催します。

講師は文化協会会員で、いずれもその道の研鑽を積んだ一流の先生方です。初心者にわかりやすく、ていねいに教えてくださいます。

会場は文化会館、受講料は原則無料です。(用具等一部自費負担有)

どういふものか知りたい、ちょっとかじってみようかな、という方も歓迎します。この機会にぜひお申し込みください。

お申し込み方法

- 文化会館事務所窓口にある申込書に記入の上、提出してください。
- 電話・FAXでの申込可 TEL34-6550・FAX34-6877
- 申込期限 9月15日(木)まで
- 申し込みされた方には、後ほど文化協会から詳細について連絡します。
- なお、人数が少ない場合は、中止になる講座もあります。

<p>講座 No.1</p> <p>はじめての俳句</p> <p>初めて俳句を作りたい人 たちへの「はじめの一步」の 講座です。俳句の基本を学ん だ後、実際に俳句を作り、句 会形式で、実作のおもしろさ、 句会の楽しさを感じていただ きます。</p> <p>◆期日 10/6(木)・20(木)・11/10 (木)・25(金)・12/1(木) (5 回)</p> <p>◆時間 午後7時～9時</p> <p>◆費用 無料(歳時記は実費)</p> <p>◆講師 小島幸男(飛騨俳句会代表)他</p>	<p>講座 No.2</p> <p>はじめての短歌</p> <p>日記の代わりに、31文字の短 歌で思い出を綴りませんか。 メモと鉛筆、または携帯電話 があれば、いつでもどこでも 作ることができます。基礎を 学び、短歌を作ってみません か。</p> <p>◆期日 10/13(木)・27(木)・11/10 (木)・17(木) (4回)</p> <p>◆時間 午後7時～9時</p> <p>◆費用 無料</p> <p>◆講師 小林伸子(新アララギ会員)・ 大下富子(同上、飛騨文芸祭 審査委員)</p>	<p>講座 No.3</p> <p>考古学入門講座</p> <p>土器や石器に興味のある人、 両面宿儺や飛騨匠の頃の古代 寺院等について学びたい人 にお勧め。考古学の基礎および、 飛騨の原始古代について学び ます。</p> <p>◆期日 10/16(日)・23(日)・30 (日)・11/6(日) (4回)</p> <p>◆時間 午後7時30分～9時</p> <p>◆費用 無料</p> <p>◆講師 吉明則富(日本考古学協会会 員) 他</p>	<p>講座 No.4</p> <p>はじめての演劇</p> <p>ボイストレーニングやコミュ ニケーションゲーム、また実 際にセリフを言っている演劇体 験など、ゲーム形式で楽しく 遊びながら進めます。</p> <p>◆期日 9/21(水)・26(月)・30(金) (3回)</p> <p>◆時間 午後6時30分～8時30分</p> <p>◆費用 無料</p> <p>◆講師 中田裕一(劇団太陽主宰)</p>
<p>講座 No.5</p> <p>デッサン・水彩画入門講座</p> <p>身近なモチーフ(静物・野 菜・果物・花等)をじっくり 見つめて描いてみましょう。 初めての方でも気楽にとりく めるよう、物の見方をていね いにご指導します。</p> <p>◆期日 9/16(金)・30(金)・10/7 (金) (3回)</p> <p>◆時間 午後7時～9時</p> <p>◆費用 紙代等は実費</p> <p>◆講師 北平真由美(中日文化センタ ー講師)</p>	<p>講座 No.6</p> <p>木版画(多色刷り)入門講座</p> <p>木版画の基礎を学びます。こ の講座がきっかけとなって、 一人ひとりの方が、心の感動 を作品とし、表現する喜びを 感じて下されば幸いです。や がて市展へ出品を!!</p> <p>◆期日 11/8(火)・15(火)・29(火)・ 12/6(火)・13(火) (5回)</p> <p>◆時間 午後7時～9時</p> <p>◆費用 版木等材料・彫刻刀等は実費</p> <p>◆講師 大門孝蔵(日本版画院同人)</p>	<p>講座 No.7</p> <p>楽しい詩吟講座</p> <p>漢詩・短歌・俳句など古今の 名詩を、腹から声を出して吟 詠すると、気分爽快・血脈活 性化。また、その場に合う吟 で座を盛り上げることもでき ます。詩吟を覚えて、楽しい 人生にしていきましょう。</p> <p>◆期日 10/7(金)・14(金)・28(金)・ 11/4(金)・11(金) (5回)</p> <p>◆時間 午後1時30分～3時30分</p> <p>◆費用 無料</p> <p>◆講師 北野龍興(興業)((社)日本吟 道学院院友会飛騨本部会長) 他</p>	<p>講座 No.8</p> <p>高山の祝唄・めでた</p> <p>めでた(前唄・本唄・返し・ 納め)を覚えませんか。他に 大津絵・東海道宿続き(飛騨 ぶし)、高山の橋づくしなど も勉強します。男女・年齢を 問いません。気軽にどうぞ。</p> <p>◆期日 10月～12月の第1土曜日・第 3土曜日 (6回)</p> <p>◆時間 午後7時～9時</p> <p>◆費用 無料</p> <p>◆講師 中村重信(高山音頭会会長)</p>
<p>講座 No.9</p> <p>坪内流三味線初心者講座</p> <p>日本古来の三味線に興味のある方、この機会に触れてみませんか。三味線専用の楽譜があるので簡単に弾けて早く上達します。飛騨やんさや高山音頭も弾けるようになりますよ。</p> <p>◆期日 10月～12月の第2・第4水曜 日を原則(6回)</p> <p>◆時間 午後7時～9時</p> <p>◆費用 無料(米代等は実費)</p> <p>◆講師 坪内直智老栄(坪内吉弘)(坪 内流家元)</p>	<p>講座 No.10</p> <p>徳山流三味線初心者講座</p> <p>飛騨高山の夏の盆踊りに三味 線を弾いてみませんか。風情 があっというものです。人生 が豊かになります。民謡の三 味線に興味のある方、お気軽 にどうぞ。基礎からていねい にお教えます。</p> <p>◆期日 10月～12月の第1・第3土曜 日(6回)</p> <p>◆時間 午後1時30分～3時30分</p> <p>◆費用 無料(米代等は実費)</p> <p>◆講師 徳山藤泉(加藤妙子)(現代津 軽三味線 徳山流 師範)</p>	<p>講座 No.11</p> <p>日本舞踊花柳流入門講座</p> <p>日本舞踊のお稽古では、まず 礼儀作法から入り、着物の着 こなし、立ち居振舞いなど美 しい動きが身につきます。ま た邦楽の素養も身につきます。 日本舞踊を通して日本の心・日 本の美を見つめてみませんか。</p> <p>◆日時 10月～3月の第2土曜日(午 前10時～12時)・第4木曜日 (午後7時～9時)(申込者の部 合により日時は合わせます)</p> <p>◆費用 無料(扇子代は実費)</p> <p>◆講師 花柳美玲(田近薫)(花柳流師 範・日本舞踊協会会員)</p>	<p>講座 No.12</p> <p>民謡・舞踊入門講座</p> <p>花笠音頭や真室川音頭、黒田 節、さんさ時雨等、全国の有 名な民謡を、初心者の方でも 踊れるようにやさしくご指導 いたします。民謡をやってみ たいという方、気軽においで ください。</p> <p>◆期日 9/22(木)と10月～12月の 第1・第3木曜日(7回)</p> <p>◆時間 午後7時～9時</p> <p>◆費用 無料</p> <p>◆講師 中田豊飛(中田真理)(日本 民謡研究会師範)</p>

◆期日は会場の都合等で変更になる場合もあります。